



2011年11月の創刊から9年、
おかげさまで発行100回目を迎えることができました。
これまでに取材にご協力いただいた方々、読者皆さま、地域の皆さまに
感謝申し上げます。



地域の温もりを子ども支援に活かす

伊賀市に温かく迎えられ、子ども支援拠点として歩み始める
「いが児童発達支援センターれいあろは」。

包括的に障害を持つ子どもの発達に関わる、伊賀市で初めての
専門拠点となる「いが児童発達支援センターれいあろは」が、この
春より歩み始めます。

「れいあろは」とは、ハワイの言葉で『愛しい子ども』という意味。
その名前には、子ども一人ひとりの「ありのまま」を受け入れ、健やか
に育ててほしい。また保護者の皆さんに、安心してお子さまを育て
てほしい、という思いが込められています。

令和2年度末までに、概ね人口10万人に一カ所以上の「児童発達支援セン
ター」設置が定められていますが、伊賀市では子どもの支援拠点が市内各所
に点在し、包括的な専門拠点がありませんでした。

そこで三重県の委託を受け、伊賀市大山田保健センター内で運営していた
「れいあろは」に、臨床心理士を配置するなど専門性を高め、また訪問相談
などの機能を加えて場所も市の中心地に移し、包括的に支援ができる事業所
として子どもの成長に寄り添うことにしました。またこれに伴い従来の「れいあ
ろは」は「ココロノイロ」と名称を替

え、引き続き放課後等デイサービス
事業を通して子どもの発達に寄り添
います。



のびのびと過ごせる、すべてにゆとりのある建物。運動ができるくらい広い廊下も特徴のひとつです。



5つに区切られた遊戯室や訓練室
などは、それぞれ目的に応じた機
能を備えています。この部屋には、
子どもが大好きなボールプールが
埋まっています。楽しそうですね。

3か国語で
表示されたプレート

遊戯室
Play room
Sala de brincar

保育室
Childcare room
Sala de assistência à infância



この部分が
マジックミラーに
なっています



子どもは遊びの中で色々なことを学び、成長します。
中庭と広い廊下を行き来したり、築山や水遊び場で楽
しんだり、思いのままに遊ぶことができますよ。

マジックミラー越しに、お子さまの様子を見守りながら訓練ができる部屋です。また、市内に住む外国籍児童にも配慮して、プレートを日本語、英語、ポルトガル語3か国語で表示するなど、この建物には、新しい取り組みや今までの療育で培ってきたノウハウが詰まっているのです。

名張育成会の活動、ひとつずつ!

各施設の様子をお伝える「MiRAiレポートブログ」から
選り抜きの話題をご紹介します。

はてなブログ MiRAiレポート 検索

施設入所支援〈成峯〉

春に向けて



今回のぽかぽか活動は、春に向けて「花植え」です(*∇*)。

昨年の初夏にも行ったので、やり方はバッチリ♪利用者さん達も、前回より慣れた様子でプランターに花を置き、土をやさしく被せていきます。(o'▽')b

ふかふかの土の感触、スコップで土を切る面白さ、小さな苗の愛らしさ、生育への期待感…楽しみ方は色々です。皆さんとても明るい表情で参加していました。

レインボークラブ

利用者勉強会 「健康づくりについて」



春に向けて、伊賀保健所の管理栄養士さんをお迎えし、健康に良い食事について勉強しました。

健康な食事とは?「バランスのとれた食事」「忙しい朝でも、果物、野菜、みそ汁等とる」「一日の野菜摂取量→350g」。減塩のポイントは?「カップ麺のスープは半分残す事、2gは減塩できるよ」「食材の味を楽しむ」「だしの風味をいかす」。あとは睡眠、適度な運動など…。話を聞きながら、利用者さんも真剣にメモをとります。

最後に皆で、軽快な音楽とともにグーパー、足上げ、忍者ポーズ、深呼吸…と軽く運動をしました。今回の学びを、今後に活かしていきましょう!!

児童発達支援センター〈どれみ〉

名張育成会の児童発達支援センターは、表面で特集した「れいあろは」と、ここで紹介する「どれみ(名張市)」の2カ所です。そのどれみでは先日、たけのこグループ(小学生グループ)今年度最後の活動として、「新聞紙の上で色々な姿勢をとってみよう」「新聞ジャンケン」「新聞相撲」「大型新聞」と新聞紙を使った4つの遊びをしました。

その中のひとつ「新聞ジャンケン」は、1枚の新聞紙の上に立って、ジャンケンに負けたら新聞紙を半分に折っていき、立てなくなったらゲームに負ける遊びです。1回ごとに一喜一憂。徐々に新聞紙が小さくなっていき、最後は片足立ちでバランスを取りながらジャンケンをしていました。

この遊びでは、新聞紙からはみ出ないように考えながら、自分の体を扱うのがコツです。とてもシンプルな遊びですが、すごく盛り上がりますよ。今年も色々なことを体験し、それぞれに成長した1年でした。

新聞遊び



(表面より)



地域の皆さんに温かく迎えられて、伊賀市に「児童発達支援センター」が生まれました。多種多様な子どもたちへの柔軟なサポートと一口に言っても、簡単なことではありません。子どもの支援が円滑的に進むための「システム作り」から、支援の必要な子どもたちへのサポート、子どもたちに関わる大人たちへのサポートと、カバーする領域は広く、まさに、これから「れいあろは」が担っていくことは、街づくり、地域づくりに直結しています。令和の時代にふさわしい新たな施設づくり。関係各所との連携を図りながらの「ワンチーム」での取り組みは、今後多様な事業のモデルとなっていくのではないかと感じました。

取材：田口知恵子(コミュニティFMを通じて、地元情報を日々伝えるナビゲーター。名張市在住。)



虹の会では随時会員募集しています。

支援を通じた仲間作り。一緒に活動しませんか! 名張育成会後援会・虹の会 0595-65-0271